

伊勢市教育研究所

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

平成 25 年 9 月 3 日 発行

伊勢市教育研究所

伊勢市小俣町元町 540 番地

たより



教職員研修講座【ICT 環境整備】

第 15 号

「今日から使える書画カメラ・プロジェクター台の製作」

～製作実習でアップする ICT 活用～

講師： 東浦 道範さん(宮川中学校教頭)・西根 敬光さん(佐八小学校教頭)
青木 匡 さん(港中学校教諭)

ガガガ、ヒューン、トントン・・・宮川中学校の技術室では、リズムカルな音が弾んでいます。残暑はきびしいものの、時々すうっと心地よい風が吹き抜けていきます。



「今日は、昨年に引き続き、このような台を作ります。」と、東浦先生のお話が始まりました。机の上には、工具や材料がきちんと並べてあります。きめ細やかな心遣いがあふれています。続いて、道具の使い方やドライバーとねじの正しい関係、金属の正しい曲げ方や折り方、力を入れ具合や締め方のさじ加減など、一つひとつの作業にきちんと意味があることを教えてくれます。

いよいよ作業が始まりました。道具の中には、初めて使うものもあります。とまどっている様子を見かけては、「どう?」と声をかける講師の先生方。それぞれの進度にあわせて優しく教えてくれます。時には失敗の見本を見せ、肩に入った力を抜いてくれます。温かい言葉がけと相手の立場にたった適切な支援で、参加者との一体感が部屋全体に広がっていきます。

初めに、電動ドライバーを使って、机の脚にキャスターを取り付けます。一つ目より二つ目と、二つ目より三つ目と腕をあげていきます。四つ目のキャスターを取り付ける時は、もうプロの腕前。電動ドリルを持つ姿が、かっこいい!!! 電動ドライバーもこわくない、初めてだって平気。意欲がどんどん湧いてきて、心地よい達成感が広がります。

「よーし、出来上がった! うまく動くかな。」と机をコロコロさせながらおしゃべりがはじまりました。「乗って遊びたいと思うやろなあ。」「うちの組の ちゃんやったら、きっと大喜びするわ!」と、子どもたちのことを話題にしてはにっこり。どんな時も、子どもたちのことを心に思い描く・・・さすがはプロの先生方です。



机の上に板を取り付けて台を作る作業に入りました。「6つのうち3つは成功させてくださいね。」と東浦先生。そう言われると、少々失敗したって平気って気分になりますよね。



東浦先生は続けます。「使った子どもたちがケガをすることのないように考えてください。ささくっていたり、ねじの先が飛び出していたりしないように。」安全面での配慮です。「これでいいかなあ。」「ケガしやへんかなあ。もうちょっと削ろうか。」と参加した先生方からの声。子どもたちのために・・・丁寧に優しい作業が続きます。

作業が進むにつれ、参加者同士が教え合う場面も見られるようになってきました。「先生、うまいなあ。」「すごいなあ、きれいに出来とるっ!」と互いに称え合う声。そこには、学び合い高め合っていく教師の姿がありました。

アンケートより (一部抜粋)



電動ドライバーを使ったこともなく心配でしたが、たくさん手伝っていただき製作することができました。材料も全て使いやすいように準備していただき、ありがとうございました。楽しく作ることができました。9月から毎日活用していきたいと思います。

すぐに使える便利なものを作ることができて大満足です。ちょっと工夫して少し時間をかければ、授業に活用できるものが作れることを再確認しました。

とてもすてきなプロジェクター台ができてとてもうれしいです。プロジェクターとカメラをセットするのがいつもバタバタして、両方の線がごちゃごちゃして・・・と悩みの種でした。昨年作られた先生が、とても便利に使ってみえて、私も申し込めばよかったと思っていたので、今年実現できて感激でした。とても親切に教えていただき、また手伝っていただき、ありがとうございました。9月からこれでバッチリです。